

衛生委員会議事録（第 21 回）

日 時	2019 年 2 月 26 日 16:00	
場 所	本社会議室 Maldives (8 人長机)	
出席者	委 員 長	人事総務部 高野
	産 業 医	諏訪内医師
	衛生管理者	人事総務部 高野
	事 務 局	人事総務部 清水
	委 員	内部監査室 神原、マーケティング部 原、 マーケティング部佐藤、店舗マネジメント部 大槻
議 題	<p>(1) 休職者・労働災害・長時間労働者の報告</p> <p>(2) 産業医からの講話</p>	
決定事項・報告事項	<p>(1) 2019 年 1 月度について、休職者、長時間労働者、労働災害の状況について説明があった。</p> <p>(2) 諏訪内医師より、アルコールについて講話があった。内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の 4 割は生まれつきアルコールに弱い体質であるため、自分の体質を正しく理解し、また他人の体質を尊重して、飲みすぎや無理強いを控えることが重要。 ・飲酒した量だけ、アルコールの代謝には時間がかかる。体重 60kg の成人男性で 20g (ビール中ビン 1 本、日本酒 1 合) のアルコールが体内から消えるまでに約 3~4 時間かかる。そのため、深夜までお酒を飲んだ場合、翌日の午前中はお酒が抜けていないこともあるため、運転等は控えるべき。 ・長期にわたり大量の飲酒をすると、脂肪肝や肝硬変などの肝臓障害が引き起こされる。過度の飲酒を控えることで、全身の臓器を休ませることが大切。 ・急性アルコール中毒時には、決して酔っている人を一人にせず、付き添う。また、吐いたものが逆流してノドに詰まり、窒息することもあるため、顔を横向けにして寝かせる。 	
その他	なし。	